

登録コード	BSD81575	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習 I (22BS以降)					担当教員	岩本 憲泰
英文授業名	Seminar in Biomedical Engineering I					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ					⇔	【授業の達成目標】
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力						(A) 生体医工学に関する専門分野の基礎知識, 文献情報等のデータベースを検索できること
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力						(B) 修士論文テーマに関する論文を読解し, 要点について説明し問題点を議論できること (C) 修士論文テーマに関する課題, 課題解決へのアプローチ法を議論できること
(2)授業の概要	担当教員(所属研究室)の専門分野に関連した技術文献, 研究論文, 専門書などを取り上げ, 演習参加学生が輪番で講義ないしは発表し, 討論を行う.						
(3)授業計画	担当教員が指定した計画に基づいて履修する.						
(4)成績評価の方法	発表者として, 聴講者として専門分野の研究を議論するために必要な以下の項目について総合的に評価する. 各項目の末尾の(A)から(C)は授業の達成目標に記載された項目を意味している. 【発表時の評価項目】 (1) 文献をレベルの高い学術誌から選択している (A) (2) 文献が英語論文である (A) (3) 決められた様式に沿って文献を読み込んでいる (B) (4) 文献内の論点, 数式を十分に理解できている (B) (5) 発表資料作成要項に従って発表資料が作成されている (B) (6) 文献内の数式を図として表現することで, 他の受講生に理解してもらおうと努めている (B) (7) 文献の理論や結果に関する議論の不十分な点や不適切な点を指摘できている (C) 【聴講時の評価項目】 (1) 1回の授業中に2回以上発言している (A) (2) 自らの理解の不十分な点を発表者に伝え, 発表者や他の受講生と理解に努めるよう議論できている (B) (3) 文献の理論や結果に関する議論の不十分な点や不適切な点を議論できている (C)						
(5)成績評価の基準	成績評価の方法で記載した項目の中で, 以下の必ず満たしていなければならない項目が達成できている場合「合格水準にある」, 出来る限り満たしていることが望ましい項目が2つ達成できている場合「やや上にある」, 出来る限り満たしていることが望ましい項目が3つ達成できている場合「かなり上にある」, 出来る限り満たしていることが望ましい項目が4つ達成できている場合「卓越している」. 【発表時の評価項目】 (1) , (3) , (5) : 必ず満たしていなければならない. (2) , (4) , (6) : 出来る限り満たしていることが望ましい. (7) : 文献内に不十分な点, 不適切な点があれば指摘することが望まれる. 【聴講時の評価項目】 (1) : 出来る限り満たしていることが望ましい. (2) : 必ず満たしていなければならない. (3) : 文献内に不十分な点, 不適切な点があれば指摘することが望まれる.						
(6)事前事後学習の内容	発表に使用する文献の調査, 発表資料の作成に関して, 事前に合計35時間以上費やすこと.						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと.						
(9)その他							
【教科書】	必要に応じて適宜指定する.						
【参考書】	必要に応じて適宜紹介する.						